（別紙様式第1号）

　　年　　月　　日

公益財団法人山形県建設技術センター

理事長　杉　澤　栄　一　様

学校名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長名　　　　　　　　　　　　　　印

ＩＣＴ関連の教育機材寄贈申請書

ＩＣＴ関連の教育機材の寄贈について、下記のとおり申請します。

記

１　土木・建築関係の専門学科名及び各学年の在席生徒・学生数

２　寄贈を希望する機材の名称

３　ＩＣＴ関連の教育機材の必要性及び活用計画

（１）寄贈対象学科における授業でのICT関連の技術教育の必要性

（２）対象機材の授業での具体的活用計画

４ 対象機材の活用に係る指導者の確保見通し

５　対象機材導入後の管理運用計画

６　添付書類（様式は任意）

（１）仕様書（品名項目、規格(性能、規模、構造等)、数量等）

（２）見積書（仕様書に基いて作成）

※　担当者連絡先

　　　所属・氏名：

TEL：　　　　　　　　　　　　　　　E-mail：

＜申請書記載上の留意事項＞

※　各項目について、必要に応じ随時別葉に記載してください。申請書が複数頁にわたっても結構です。

１　「土木・建築関係の専門学科名及び各学年の在席生徒・学生数」は、土木と建築で学科が異なる場合は別々に申請することが可能であり、その場合はそれぞれ申請書を作成していただくことになります。

２　「寄贈を希望する機材の名称」については、「ドローンシステム」「専門教育用パソコン」「測量システム」「３Dプリンターシステム」「CIMシステム」など、授業で使用する際の総括的な名称を記載してください。

３（１）「寄贈対象学科におけるICT関連の技術教育の必要性」については、国、県の施策動向及び建設業界のICT導入状況を踏まえ、貴校のICT関連の技術教育の必要性を記載してください。

３（２）「対象機材の授業での具体的活用計画」については、以下の点について記載してください。

①　当該授業が、土木・建築関係技術の基礎を学ぶ授業であること。

②　当該授業が貴校のカリキュラムに位置づけられるものであること。

③　授業での使用開始予定時期

④　機材の活用により期待される授業での効果　等。

４「対象機材の活用に係る指導者の確保見通し」については、担当教師が直接指導するのか、授業の中で外部の専門家に指導を依頼する必要があるのか、具体的に記載してください。

　　 ５「対象機材導入後の管理運用計画」については、具体的ランニングコスト、機材の保管スペースの確保などに留意して記載してください。

　 　６（１）「仕様書」については、一般競争入札を行う際に業者に提示できる内容で記載してください。

　　 ６（２）「見積書」には、必要に応じ機材納入後５年間以内のメンテナンス経費や、外部の専門家による指導等に要する経費を含めることを可能とします。この場合、ＩＣＴ関連の教育機材の金額と合わせて5,000千円以内とします。

（別紙様式第２号）

年　　月　　日

公益財団法人山形県建設技術センター

理事長　杉　澤　栄　一　様

学校名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長名　　　　　　　　　　　　　　印

ＩＣＴ関連の教育機材活用状況報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 機材の名称 |  |
| 授業での活用  状況  （授業名、対象生徒・学生数、使用頻度等） |  |
| ICT技術教育における寄贈機材の効果に関する所見 |  |
| 今後の活用見通しと課題 |  |
| その他 |  |